

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：一般社団法人しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市上田 180-6
評価実施期間： 令和5年6月1日から令和6年1月9日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） B2020068 B18054	

### 2 福祉サービス事業者情報（令和5年9月現在）

事業所名：特別養護老人ホーム （施設名）こうみの里	種別： 介護老人福祉施設
代表者氏名： （管理者氏名）篠原 恵美子	定員（利用人数）： 60 名
設置主体：社会福祉法人ジェイエー長野会 経営主体：	開設（指定）年月日： 平成30年4月1日
所在地：〒384-1102 長野県南佐久郡小海町大字小海 3130-4	
電話番号： 0267-92-4451	FAX 番号： 0267-92-4570
電子メールアドレス：koumi001@saku.ja-naganokai.or.jp	
ホームページアドレス：	
職員数	常勤職員： 30 名 非常勤職員 14 名
専門職員	介護職員 22 名 介護職員 3 名
	看護職員 3 名 看護職員 3 名
	その他 5 名 その他 8 名
施設・設備 の概要	（居室数）個室 30 室 多床室 12 室 （2 人部屋 6 室 3 人部屋 6 室） 静養室 2 （設備等）寝浴 2 個浴 3 トイレ 27 天井リフト設置 18 室 走行リフト 3 台

### 3 理念・基本方針

<p>【法人理念】 わたしたちは、「協同のこころ」をもって“あなたとともに”“地域とともに”一人ひとりの幸せ・笑顔を創ります。</p> <p>【法人行動目標】 私たちは、一人ひとりの尊厳を守り、“いのち”の大切さに向き合いながら寄り添い、係わる全ての人々が、身体的・精神的・社会的に良好な状態でその人らしい日常生活が送れるよう、努めます。そして、地域とのつながりを広げ、地域共生社会の実現を目指します。</p> <p>【こうみの里基本方針】 木の温もりに包まれた環境の下で、利用者さんの思いや日々の生活を大切にしたい支援を行うと共に、地域の皆様とも交流を通して生き生きと暮らせる地域社会づくりに貢献します。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

施設の窓から八ヶ岳連峰をのぞみ、木の香りに包まれた穏やかな雰囲気施設の施設です。利用者の皆様ができるだけ自分の力で生活できるよう、健やかに毎日を過ごせるようスタッフで工夫して支援しています。北欧式トランスファーに取り組み、利用者に対する心身の負担を軽減するとともに、介助者の職員の身体的、精神的な負担軽減に努めています。

#### 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回（ 年度）
---------------	----------

#### 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

(1) 長野県産木材を使用した木のぬくもりのある建物。

○建物内に木材が多用されており、木の温もりと落ち着いた雰囲気を醸し出しています。中でも地域交流ホールやウッドデッキは地元のカラマツ材が使用されています。地域交流ホールでは、JA婦人部によるスコープ三味線の演奏や、ボランティアによる紙芝居、同法人が運営する障がい者施設利用者によるリハビリ教室として有効活用が図られていました。

(2) 事業所の運営を職員が統一した考えで遂行しています。

○経営戦略に対して、管理職をはじめ、各リーダーが経営目標を設定し、現場の職員一人ひとりに対して 5W1H の活用によって、目標や目的達成の為の課題点を見つけ、組織全体の中で、安定した経営に向けた取り組みがみられました。

○日頃から誤嚥性肺炎にならないための口腔ケアの実施、尿路感染にならないための観察力、洞察力を持って支援にあたることで、入院に至るケースが激減され結果として安定した稼働率の維持に繋がっています。利用者の健康状態を敏感に察する力が、利用者にとっての快適な生活に直結していることを今回の評価調査を通して強く感じました。

(3) 職員が働きやすい職場環境

○職員のライフワークバランスを考慮して、夜勤勤務の回数が考慮され、介護休暇や急な休暇が取得できるよう、職員間の相互理解と協力体制を整えていました。

○職員間のコミュニケーションが良好で、信頼関係がうまく形成され働きやすい職場であること。支援で不安や問題があった時など、仲間に声を掛けると気軽に集まり相談に乗ってくれたり、困ると事務や看護師等も積極的に手伝いに入ってくれ、支援での協力体制が整っているように感じられました。また、報告・連絡・相談もできており、お話を伺った職員皆さんから雰囲気の良い働きやすい職場ですとの声が聞かれました。

(4) 利用者に寄り添う支援に取り組んでいます。

○日常の中で利用者に寄り添う支援はもとより、寝たきりに近い状態の利用者を一人居室に残すことなく、ベッドをリビングに移動して、周囲の刺激に触れられるよう環境の配慮が伺えました。

(5) 看取りケアに取り組んでいます。

○終末期の利用者については、個人の看取りマニュアルを作成し、他界された際は必ず職員間で支援の振り返りを行い、今後の看取りの在り方に生かしていました。また、終末期には家族と一緒に泊まれるよう配慮されていました。

◇特に改善する必要があると思う点

(1) 利用者の状況に応じた口腔ケアについて

○利用者が口腔機能の保持・改善に主体的に取り組むための支援や、◇職員に対して口腔ケアに関する研修を実施して頂いていますが、◇専門職の助言・指導を受けて、口腔状態及び咀嚼嚥下機能の定期的なチェックや◇利用者の口腔清掃の自立の度を把握し、一人ひとりに応じた口腔ケアの計画を作成し、実施と評価・見直しについては、職員による自己評価では半数近くが出来ていない知らないという結果でした。

この結果を踏まえ、口腔ケアについての振り返りと対応についてのご検討をお願いします。

#### (2) 終末ケアの対応について

○親しい人との永遠のお別れは切ないものと思います。ストレスも大きくそこから立ち直るのも、人によっては時間を費やします。

終末ケアの対応について方法や手順、ケアを行う体制は職員に周知されていますが、ケアに関する研修や職員への精神的ケアについては、職員による自己評価では3割強が出来ていないとの結果でした。

終末ケアについての取り組みの内容を職員が共有できるようご配慮をお願いします。

#### (3) 実習生の受け入れ

○昨年度は特別支援学校の生徒の体験実習を受け入れています。一方で、各種大学、専門学校からの実習の受け入れ実績がありませんでしたので、これからのマンパワーの確保の為に、福祉系専門学校、大学、保育士養成学校等に対して、社会福祉施設の実習先としての宣伝と、受け入れ態勢の整備を期待します。

#### (4) 生きがいを感じられる生活支援の提供

○今回は利用者お一人から話を伺いました。生活面では職員は優しく、話を聞いてくださっているとのこと。ただ、一日の生活がテレビを見たり寝て過ごす等、単調な生活になってしまっているようです。利用者が生きがいや楽しみを感じられるような支援を期待しています。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目(別添1)
- ・ 内容評価項目(別添2)

## 8 利用者調査の結果

長野県福祉サービス第三者評価事業評価結果取扱要領第2条第1項の規定により、有効回答者数が10人未満のため(有効回答者数が利用者総数の半数未満のため)、非公開とします。

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント(別添4)